

福田小学校だより

NO. 11
平成30年
10月2日
文責：学校長

ご観覧ありがとうございました



22日の運動会は、開会を1時間遅らせ何とか実施することができました。しかし、短縮プログラムによりPTA種目(綱引き・障害物リレー)をカットしたため、保護者の皆様の勇姿、教職員のがんばる姿を子どもたちに見せられなかったのが心残りです。

本年度の運動会は、児童の「主体性」と「自己有用感」を育てることに重点を置き、子どもたちの考えやアイデアを尊重した種目を多数取り入れました。6年生の有志によるラジオ体操の師範に始まり、ダンスや組体での自由表現や新種目の応援合戦、6年生が中心になって作戦や練習を行った児童会種目などです。高学年の組立表現では、これまで笛などの合図で動いていたものを、一人一人が音楽をしっかりと聴き、リズムに合わせて動くという高度な表現に挑戦し、見事に成功させました。これも「主体性」を重視した取組の一つです。さらに、準備などの係活動でも、教員の指示ではなく自分で考えて動けるよう練習に取り組みました。

ご協力いただいたアンケートの「子どもたちの自主性や主体性が感じられた。」の項目でも、46%の方に「A：非常にそう思う」と回答いただき、一定の成果が見られたと捉えています。

特に、6年生の活躍には目を見張るものがありました。各自が運動会成功に対する目標設定とその実現にむけた具体的な方法を考え実践したことで、苦労は多かったものの、子どもたちの満足感や充実感は非常に高かったようです。今後、これらの取組を教育活動の中で継続させ、自分で考えて行動し成功体験を重ねることで、「主体性」や「自己有用感」を高めていきたいと考えています。

その他、アンケートでご指摘いただいた各種目の改善点に加え、多大なご迷惑をおかけした「放送が聞こえなかった」ことに関しても、放送設備の新設にむけ来年度予算に計上するなどの対応を行います。さらに、今年度は気象予報が日々変化し、運動会実施についての判断が難しい状況がありましたが、保護者の皆様への直前の情報提供の要望につきましても善処してまいります。ご協力ありがとうございました。

■「おん☆かつ 2018」

毎年、市内小学校の4年生を対象に開催される「おん☆かつ」が、9/27に本校で行われました。今回は、国内外で活躍されているマリimba（大型の木琴で共鳴筒があるもの）奏者が来校され、打楽器の魅力や高度なテクニックの披露に合わせ、楽器以外での音づくりを子どもが体験しました。



6月にあった「狂言ワークショップ」や、11/23の学習発表会での「加東市イメージソング」の披露など、加東市は子どもたちへの芸術文化の普及にも力を入れています。幼いころの感動体験は、子どもたちの人生を豊かなものにしてくれます。本当にありがたいことと思っています。

なお、10月20日（土）やしろ国際学習塾で開催される「日本語スピーチコンテスト」（13:30～）の第2部で、「世界の音楽」をテーマにマリimba演奏会が開催されます。（入場無料とのことです。）

■福田っ子のがんばり

これから、多くの作品展や大会があります。今回は夏休みの自由課題が中心の表彰です。少人数の本校でも、受賞する子はたくさんいます。その都度、朝会で全校生に紹介し、がんばりを褒めるのですが、私がいつも話しているのは、「よい結果が出るにこしたことはないが、練習をしてきた過程（努力）は、自分の糧となる。結果がすべてではない。その努力が自分を成長させる。」ということです。しかし、よい結果が出た時には、しっかりと認めてあげたいものです。

・加東市小中学校読書感想文コンクール

特選：1年 邑上 碧（あおい）さん	6年 邑上 輝（ひかる）さん
入選：2年 宮崎 愛都（あいと）さん	3年 定松 廉（れん）さん
4年 定松 謡（うた）さん	4年 内藤 煌貴（こうき）さん
5年 上石 公一（きみかず）さん	6年 田中 美緒（みお）さん

・みなぎの書道展

加東市教育委員会賞：6年 藤本 芽衣（めい）さん
みなぎの賞：6年 國井 優沙（ゆさ）さん

・加東市ノーベル大賞

優秀賞：5年 中野 向彪（こうせ）さん
審査員賞：1年 邑上 碧（あおい）さん 6年 邑上 輝（ひかる）さん
入選：5年 上石 公一（きみかず）さん

■10/31（水）は学校オープン

2学期の学校オープンを行います。午前中だけのオープンですが、教科化となった道徳を含め、3時間の授業参観と親子芸術鑑賞会を予定しています。今回の鑑賞は「ティンカーベル」の皆さんによるベル演奏です。後日、詳細の案内文書を配付しますので、多数のご来校をお待ちしております。